



花と緑とともに
住友化学園芸50年の歩み



家庭園芸を通じて、 彩りある未来を咲かせていきたい。

住友化学園芸株式会社
代表取締役社長 壇辻 寛和

花と緑のある景観は、心をうるおし、会話をはずませ、
街や地域社会を心地よいものにしてくれます。
家庭園芸が広がり、花と緑があふれると、人々の心が明るくなり
未来の豊かさにまでつながっていくものと信じています。
そんな未来の育みは、花と緑を愛するご家庭からはじまります。
私たちは、家庭園芸に関連する資材の研究・開発や販売・普及を通じて、
健やかで豊かな「あしたを育てる」お手伝いをしてまいりました。
今後も、現代社会において、
子どもたちの情操教育や高齢化社会での生きがい創出など、
家庭園芸が果たす役割は多岐にわたり、ますます広がることでしょう。
変化する時代とともに歩みながら、
住友化学園芸は、より豊かで確かな“あした”を創造してまいります。

50周年記念ロゴ・スローガン

この国のあしたを、花や緑でより咲かせていくために。
育てるよろこびを、
ひとりでも多くの方の毎日へ届けていきたい。
もっとたくさんの人に
ガーデニングを楽しんでほしい。
そんな願いを込めて、
「どんなあしたを、咲かせよう。」というスローガンと
家庭園芸のシンボルとして
花、野菜、植物を彩り豊かにあしらった
デザインのロゴを制定しました。



50年の歩み

花と緑とともに歩んだ50年

創業当時、家庭園芸はまだ富裕層を中心とした特別な趣味というイメージがありました。その頃から、弊社は園芸業界の先駆けとして、家庭園芸を愛するお客様のニーズに応えてまいりました。その後、家庭園芸の一般化が進み、ガーデニングという言葉が普及するとともに、弊社も薬剤や肥料の研究・開発、販売等で新規分野に挑戦し、花と緑にふれあう楽しさをお客様に伝え続けてまいりました。こうした家庭園芸の発展とともに、弊社も社名の変遷や理念の見直しを経ながら今日に至っております。これからも家庭園芸業界をリードしていくため、時代の移り変わりとともに変化するお客様のニーズに寄り添いながら、さらなる成長を続けてまいります。

社名と企業理念の変遷

社名ロゴ・コミュニケーションマーク・周年ロゴ

1969年

武田薬品工業株式会社の農薬事業部の子会社として「武田園芸資材株式会社」を創立。



1986年

明文化されていなかった企業理念を初めて体系化し、制定。企業理念は、「花と緑のある環境をつくることにより豊かな心を醸成する」。

1989年

創立20周年を記念し、本格的にCIを導入して商号を「タケダ園芸株式会社」に変更し、イメージを一新。企業理念に「花と緑のある生活を通して心豊かな環境づくりに貢献する。」、ビジョン「園芸分野のリーディングカンパニーをめざす。」、モットー「マーケットから発想する経営。」を掲げ、園芸業界を牽引していきました。



2002年

住友化学工業株式会社(現 住友化学株式会社)と武田薬品工業株式会社の合弁会社設立に伴い、「住化タケダ園芸株式会社」に商号を変更。また新たな挑戦がはじまりました。



2007年

合併の解消に伴い、住友化学株式会社100%出資の子会社となり、商号を「住友化学園芸株式会社」に変更。住友化学グループの一員として、また家庭園芸のリーディングカンパニーとしてのCIを再構築するとともに、「あしたを育てる」というタグラインを初めて制定。現在に至る企業理念として、使命(ミッション)「花と緑を通じて、人々と社会に貢献します。こころを育てます。夢を育てます。未来を育てます。」、経営理念(エンジン)「お客さまから発想し、顧客満足を創造します。」、経営目標(ゴール)「家庭園芸の、リーディング・カンパニーをめざします。」に基づく経営を実践しています。



2009年

創立40周年



2019年

創立50周年



家庭園芸業界の先駆けとして、小売店様へ販路を拡大。
さらに、広告宣伝にも力を注ぐことで、園芸ビジネスの基盤を強化していきました。

「武田園芸資材株式会社」創立(1969年)

創業時は社員わずか5人。本社所在地は東京都中央区日本橋本町二丁目(現:武田薬品工業グローバル本社)。武田薬品の旧薬品倉庫を改装し、事務所を開設しました。当時の営業員は2名。デパート屋上にあった園芸売場や種苗店が主なお客様で、商品は創業当初はベニカ(エアゾール)、ベニカ乳剤、マラソン乳剤、ダインの4品からスタートしました。



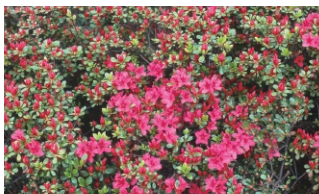
当時のマラソン乳剤 当時のダイン

薬局様・薬店様ルートへも販売(1969年)

武田薬品の医薬品ルート(武田会)へも販売。販促物に花や野菜のタネを活用し、好評を博しました。

園芸の大衆化、はじまる(1971年)

当時、園芸植物といえば、ばら、菊、盆栽で、富裕層の特別な趣味に過ぎませんでした。しかし、この年頃から“さつき”ブームが起き、園芸の大衆化がはじまりました。園芸の小売店様も増えはじめ、小売店様を直接訪問して取り扱いを推奨する攻めの営業活動を開始し、販路を開拓していきました。



当時のスミチオン乳剤 エードボール

総合ガイドブックの発行開始(1975年)

今でも多くの方々に弊社の商品をご紹介している「総合ガイドブック」は、この年からはじまります。当時は、4つ折りのB5サイズで「タケダの家庭園芸製品」という名称でした。その後、商品ラインアップが増え、B2チラシができたり48ページになったり、さまざまな変遷がありました。さらに、1990年からは、商品を選ぶ手引きの要素も加わり、現在の名称である「家庭園芸便利ガイド(総合ガイドブック)」は、店頭フリーペーパーとしてお手元にお届けするとともに、2011年からはホームページにも掲載しています。



当時の総合ガイドブック



現在の総合ガイドブック

大阪出張所を開設(1972年)

大阪・道修町に出張所を開設。出張所とはいえ、わずか1坪の事務所で、社員3人が膝を突き合わせている状態でした。この年、クサノン粒剤を新発売。除草剤が園芸用品に加わり、市場を拡大する先鞭をつけました。



当時のクサノン粒剤



園芸専門誌に初めて広告出稿(1973年)

1973年は、弊社にとって広告元年の年でもあります。4月にNHK「婦人百科」(現:「すてきにハンドメイド」)から独立して「趣味の園芸」が創刊。同月には、主婦の友社から「園芸ガイド」も創刊され、どちらも創刊号から広告を出稿しました。その後も「ガーデンライフ」(1990年廃刊)などの園芸専門誌に積極的に広告出稿しました。



趣味の園芸 創刊号



園芸ガイド 創刊号

オルトラン粒剤を家庭園芸で取り扱い開始(1974年)

オルトラン粒剤の販売に伴い、積極的に広告宣伝・店頭販売を行い普及を推進しました。



当時のオルトラン粒剤

ホームセンター様と本格的取り組み開始(1977年)

この年、ホームセンター様と本格的に取り組みを開始。以降、園芸ビジネスの基盤になっていきます。



1988年当時の病害虫パネル

社会の動き	業界トピックス	弊社の歩み	新商品
- アポロ11号人類初の月面着陸 - 金田正一投手、史上最多400勝 「Oh! モーレツ」流行 - 東名高速道路が全線開通		1969年 (昭和44年) 10月3日 「武田園芸資材株式会社」創立 - 当初は特約店様13社から園芸ルートを取り引き開始 - 薬局様・薬店様ルートへも販売 資本金500万円	- ベニカ - ベニカ乳剤 - マラソン乳剤 - ダイン
- 日本万国博覧会(大阪万博)開催 - ビートルズ解散	山野草ブームはじまる	1970年 (昭和45年) - 農業取締法第八条遵守のため啓発活動を開始 - マネキン(店頭販売員)導入 - 植木市などの催事に出展	
- マクドナルド、日本1号店開店 - カップヌードル発売 - アンノン族登場	園芸ブーム到来! さつきが大人気	1971年 (昭和46年) - 園芸の大衆化はじまる - 業界初の液体肥料「エード」「エードF」新発売 - 業界初の殺虫殺菌エアゾール「ベニカA」新発売	- エード - エードF - ベニカA - スミチオン乳剤 - エードボール
- 札幌オリンピック(冬季)日の丸飛行隊メダル独占 - ミュンヘンオリンピック - 沖縄返還 - パンダ上野動物園へ	- 日本初の本格的ホームセンター誕生 - 観葉植物ブーム	1972年 (昭和47年) 大阪出張所を開設	クサノン粒剤
- 巨人V9達成 - オイルショック - 花の中3トリオ(森昌子、桜田淳子、山口百恵) - ノーベル物理学賞・江崎玲於奈	「趣味の園芸」創刊 「園芸ガイド」創刊 - 国内初の園芸卸店見本市開催	1973年 (昭和48年) 園芸専門誌に初めて広告出稿	ハンドスプレー
- 長嶋茂雄引退 - ノーベル平和賞・佐藤栄作 「ペルサイユのばら」が宝塚大劇場で初演		1974年 (昭和49年) オルトラン粒剤を家庭園芸で取り扱い開始	- オルトラン粒剤 - ペンレート水和剤
- ベトナム戦争終結 - ペルバラブーム - 沖縄国際海洋博覧会 開催	- 布施明の「シクラメンのかほり」がヒット - シクラメンがブームに	1975年 (昭和50年) 総合ガイドブックの発行開始 9月から3月に決算期変更	
「おかげたいやくくん」大ヒット - モントリオールオリンピック - インスブルックオリンピック(冬季) - アメリカ建国200年祭 「ボバイ」創刊、カタログ文化元年		1976年 (昭和51年) 自社開発品第1号「アリアトル」新発売	- ジベラ錠5 - アリアトル
王貞治、ホームラン756号 世界新記録達成	- 日本DIY協会設立 - セントポーリアがブームに	1977年 (昭和52年) - ホームセンター様と本格的に取り組み開始 - 病害虫番号付パネルを作成 - 日本DIY協会(現 社団法人日本ドゥ・イット・ユアセルフ協会)加入 本社に電算機(IBM System34)導入	- オルトラン水和剤 - サブロール乳剤 - デナボン5%ベイト
「サタデー・ナイト・フィーバー」大ヒット、ディスコブーム - 新東京(成田)国際空港開港		1978年 (昭和53年) - 病害虫パネルをリニューアル(除草剤を加えて5枚に) - 初の海外研修に3人派遣(ドイツ・オランダ・フランス) - 社是制定「1.和親協同 2.誠実公明 3.責任完遂」	- デナボン5%ベイト - サブロール乳剤 - オーソサイド水和剤80

独自の研究開発部門の設立や、
家庭園芸の活性化に向けた取り組みへの注力により、
園芸市場のさらなる発展に貢献しました。

テレビCMスタート(ベニカC) (1979年)

弊社としては初めて、テレビCMを放映しました。

当時のベニカC

民謡歌手の金沢明子さんが八木節の曲に乗せてコマーシャルソングを歌いました。

「ちょいと出ました、タケダのベニカ〜♪
アブラムシから黒星病に効果抜群
お〜いいね〜♪ベ・ベ・ベニカC」

園芸相談員制度を 開始(1980年)



薬剤の使い方などの商品説明の重要性をふまえ、弊社商品ならびに園芸に対する啓発を目的に、園芸相談員制度を開始しました。自主的な組織として、1985年には東日本エリアに「GC会」、1986年には西日本エリアに「あすなろ会」が発足。商品知識のみならず、園芸全般の知識も兼ね備えた園芸相談員は好評を博し、店頭でお客様と直接コミュニケーションが取れる身近な相談員として定着しました。今では、全国で数多くの弊社園芸相談員が活躍しています。

小売店様講習会を開始 (1982年)

この年から、流通向けに、薬剤の正しい使用方法の説明などを目的とした小売店様講習会を開始。その後、大評判を得て、毎年各地で実施することになりました。



本社移転 (タケダ本町ビルへ) (1986年)

ビルの建て直し工事のため、一時仮住まいしていた本社が、工事完成に伴い、東京都中央区日本橋本町二丁目の新築ビルに移転しました。(現:武田薬品工業グローバル本社ビル)



大阪出張所が営業所に昇格・移転(1979年)

西日本エリアの営業活動の拡大に伴い、出張所から営業所に格上げし、道修町から神崎川(現:シティテラス神崎川駅前)に移転しました。

研究開発部門設立(1979年)

組織的には、独自の研究開発はこの年からはじまります。大阪市淀川区十三(現:武田薬品工業 大阪工場)にて、当初はわずか2人でのスタートでした。その進化・発展した姿が、現在の浜松にある製品開発センターです。

電飾看板を 小売店様・百貨店様に 無償提供(1981年)

園芸小売店様の店頭到店名を含め看板がまだない時代にあって、園芸薬品取扱・店名入り円形電飾看板(直径70cm)を全国の園芸専門店様に提供しました。(2年間合計2,500店舗にご提供)

「販売の手引き」発行(1983年)

薬品・肥料の店頭販売の指南書を発行。より一層使いやすいうように改訂を重ね、現在では「販売の手引き」と「製品要覧」「作物別薬品検索ガイド」に分冊化しています。

当時の販売手引き

現在の作物別薬品検索ガイド

小売店様向け情報誌「グリーンコミュニケーション」 創刊(1988年～2005年)

小売店様向けBtoB情報誌「グリーンコミュニケーション」が創刊。以来、小売店様と弊社をつなぐ情報誌として、高い評価を得てきました。その後、販売チャネルが専門店様から量販店様中心に移行し、さらにWebの進化・発展に伴い、BtoBの印刷メディアは2005年をもって役割を終えました。



社会の動き	業界トピックス	弊社の歩み	新商品
●東京サミット開催 ●携帯電話登場	●底面給水システム広まる	1979年 (昭和54年) ●テレビCMスタート(ベニカC) ●大阪出張所が営業所に昇格・移転 ●研究開発部門設立 創立10周年 資本金を15百万円に増資	●パイベニカ
●モスクワオリンピック ●レークプラシッドオリンピック(冬季) ●張本勲、3000本安打達成 ●イラン・イラク戦争勃発	●ボプリブーム ●ジャコパサポテン人気に ●(社)日本ドウ・イット・ユアセルフ協会設立	1980年 (昭和55年) ●特約店会を実施(第1回武田花柄共栄会) ●園芸相談員制度を開始 資本金を20百万円に増資	●アクテリック乳剤
●スペースシャトル打ち上げ成功 ●寺尾聡「ルビーの指環」大ヒット ●クリスタル族登場 ●パソコンが普及しはじめる ●ノーベル化学賞・福井謙一	●富良野のラベンダー畑に観光客増加	1981年 (昭和56年) ●小売店様販促施策として電飾看板を無償提供	●アリアトールS
●東北・上越新幹線開業 ●オーディオCD登場 ●500円硬貨発行		1982年 (昭和57年) ●小売店様講習会を開始	●ダイロン微粒剤 ●グリーンベイト ●スミソン乳剤
●東京ディズニーランド開園 ●NHK朝の連続ドラマ「おしん」最高視聴率62.9%	●ブチサポテンブーム	1983年 (昭和58年) ●「販売の手引き」発行 ●社内研修開始(現 住化アグロ製造(株)郡山工場見学)	●ボルン ●不快害虫粉剤 ●アリアトール粉剤 ●アリアトールAX ●ナメトックス ●花工場スティック庭木用
●ロサンゼルスオリンピック ●サラエボオリンピック(冬季) ●「エリマキトカゲ」人気 ●日本の平均寿命、男女ともに世界一に	●日本家庭園芸普及協会発足 ●家庭園芸肥料協議会(現 家庭園芸肥料・用土協議会)設立	1984年 (昭和59年) ●業界初の大陳ディスプレイを作成 ●日本家庭園芸普及協会(現 公益社団法人 日本家庭園芸普及協会)加入 ●家庭園芸肥料協議会(現 家庭園芸肥料・用土協議会)加入 資本金を40百万円に増資	●ザイトロンシリーズ ●エードボトリン1号～5号
●阪神タイガース、初の日本一 ●つくば科学万博開催 ●ファミコン大ブーム	●クリスマス用にポインセチアの普及はじまる	1985年 (昭和60年) ●GC会発足(東日本園芸相談員の会)	●オルトランS ●オルトランC
●グルメブーム	●コチョウラン・カトレア人気高まる	1986年 (昭和61年) ●初めて企業理念・標語を制定 企業理念:「花と緑の環境をつくることにより豊かな心を醸成する」 ●本社移転(タケダ本町ビルへ) ●あすなろ会発足(西日本園芸相談員の会)	●スミナイス乳剤 ●オルトラン液剤
●JR誕生(国鉄分割民営化) ●ブラックマンデー ●ノーベル生理学・医学賞利根川進 ●ハンディタイプの携帯電話登場	●不快害虫用殺虫剤協議会(現 生活害虫防除剤協議会)設立	1987年 (昭和62年) ●エードボトリン テレビCM放映(全国版のテレビ番組提供)	
●東京ドーム完成 ●「ノルウェーの森」ベストセラー ●純愛ブーム ●ソウルオリンピック ●カルガリーオリンピック(冬季)	●(社)日本家庭園芸普及協会設立 ●カジュアルフラワーという造語誕生、切花ブームに ●パンジーが秋の花壇苗に	1988年 (昭和63年) ●小売店様向け情報誌「グリーンコミュニケーション」創刊 ●不快害虫用殺虫剤協議会(現 生活害虫防除剤協議会)加入	●花工場原液 ●花工場スビーディー ●園芸手袋

※掲載されている商品名、商品画像及び容量などは発売当初とは異なる場合があります。また、商品名は呼称で、現行品の商品画像は2019年8月末現在のもので掲載しています。

創立20周年を機に、CIを導入してイメージを一新。
「ガーデニング」ブームを牽引し、
家庭園芸業界に知名度を浸透させていきました。

創立20周年を記念し、CIを導入(1989年)

創立20周年を迎え、商号を「タケダ園芸株式会社」に変更すると同時に、本格的にC I (コーポレート・アイデンティティ)を導入し、イメージを一新しました。コミュニケーションマーク(花と緑のマーク)は、この時に採用したものが原型となっています。



創立20周年記念「花と緑のやすらぎ写真コンテスト」実施(1989年)

「タケダ園芸『みどりの日』功労賞」制定(1989年～1991年)

「みどりの日」制定にちなみ、「花」「植物」「樹木」等の事柄で広く社会に貢献した人、あるいは「みどり」を愛した人に、この賞を授与することで、その功績を称えると同時に、広く社会に伝達することを目的として制定。その後、このCSR活動は1991年に終了しました。



製品開発センター完成(1993年)

家庭園芸の時代にふさわしい高品質な製品をお届けし、一般家庭のお客様にもっと園芸を楽しんでいただくための研究施設として、浜松に製品開発センターを完成させました。



園芸業界初の花と緑の情報テレビ番組「花生活(はなぐらし)」を番組提供(1993年～1995年)

このシリーズでは番組提供にとどまらず、番組制作への協力も積極的に行いました。



日本初の花博覧会に共同出展(1990年)

国際花と緑の博覧会、略称「花の万博」「E X P O ' 9 0」が大阪市鶴見緑地で開催されました。総入場者数は2312万6934人で、特別博覧会史上最高を記録。液体肥料「花工場」を花の万博コラボレーション商品として販売しました。



環境共生型商品を発売(1990年・1994年)

業界内でもいち早くエコ商品に着眼点を置き、スギ・ヒノキの樹皮を利用した培養土「タケダ培養土21」やリサイクルの紙の鉢「ファーマーズポット」を発売しました。



タケダ培養土21



ファーマーズポット

スプレー商品時代の幕開け(1997年)

「ガーデニング」という言葉が市民権を得て、家庭園芸人口も大幅に増加。それに伴い、使いやすさが求められるようになりました。スミチオンスプレー・ベニカエーススプレーを発売し、スプレー商品時代が幕を開けました。



2001年当時のスプレー使用写真

電話でのお客相談窓口開設(1997年)

薬剤の使い方などの質問に対応するために、専門部署と専用の電話回線を開設しました。

社会の動き	業界トピックス	弊社の歩み	新商品
「イカ天」バンドブーム - 消費税スタート3%	「みどりの日」が祝日に - エディブルフラワー注目される - 緑の安全推進協会発足	1989年 (昭和64年) (平成元年) - 創立20周年を迎え、「タケダ園芸株式会社」に商号変更、同時にCIを導入 - 創立20周年記念「花と緑のやすらぎ写真コンテスト」実施 「タケダ園芸『みどりの日』功労賞」制定(～1991年) - ジョブススティック テレビCM放映 - 緑の安全推進協会(現 社団法人 緑の安全推進協会)加入 創立20周年 資本金を60百万円に増資	- ダコニール1000 - サンボルドー ダコニール1000
- 東西ドイツ統一 - イタメシブーム - バブル経済	「国際花と緑の博覧会」(花の万博) - ガーデニングブームへ - ハンギングバスケット注目される	1990年 (平成2年) - 日本初の花博覧会に共同出展 - 花工場 テレビCM放映 - スギ・ヒノキの樹皮を利用した新規事業を開始 - 社団法人 日本植物防疫協会(現 一般社団法人 日本植物防疫協会)加入 - 大阪営業所を江坂に移転	のら猫にける練り状 - リーフクリン - のら猫にける粒状 - のら猫にける練り状 - タケダ培養土21
- 湾岸戦争 - ソビエト連邦崩壊 - ジュリアナブーム	- 第1回日本フラワー&ガーデンショウ - 第1回世界らん展、日本大賞 - 花壇苗の取り扱い量増加	1991年 (平成3年) エアゾール品全盛時代に突入、300ml缶に加え420ml缶のラインアップ拡充 資本金を160百万円に増資	オールドランC 300ml・420ml - MCPソーダ塩 - トマトーン - レンテミン液剤 トマトーン
- 毛利衛スペースシャトルで宇宙飛行 - きんさん・ぎんさんブーム - バルセロナオリンピック、岩崎恭子金メダル - アルベールビルオリンピック(冬季)	- ブルーベリー普及 「グリーンアドバイザー」認定制度設立	1992年 (平成4年) タケダ培養土21 園芸用土として業界初のテレビCM放映	フローリスト
- 欧州連合(EU)発足 - 皇太子徳仁親王と小和田雅子さんご結婚(現 天皇・皇后) - リーグ開幕	ラベンダーの家庭園芸向け品種が増加	1993年 (平成5年) - 製品開発センター完成 - 園芸業界初の花と緑の情報テレビ番組「花生活(はなぐらし)」を番組提供(～1995年)	
- 関西国際空港開港 - リレハンメルオリンピック(冬季) - ノーベル文学賞・大江健三郎	- ガーデニング市場急成長 - コンテナガーデンがブームに - テラコッタ一般化 - ハープ関連の本が多く出版 - アロエ注目される	1994年 (平成6年) - リサイクルの紙の鉢「ファーマーズポット」発売 - 札幌駐在開始(～2002年)	カリグリーン オレート液剤 - ファーマーズポット - ダイアジノン粒剤3 - NEWアリアートルハウス - ねずみにける - オレート液剤 - カリグリーン
- 阪神・淡路大震災 - PL法施行 - 流行語にインターネット	- ラティス・トレリス・オベリスク等のガーデンエクステリアが一般化 - 緑の安全推進協会 社団法人に - ベチュニアのブームはじまる	1995年 (平成7年) 阪神・淡路大震災で被害を受けた一部小売店様の復旧作業・応援として社員を派遣	ルートン ルートン
アトランタオリンピック	- 日本ハンギングバスケット協会発足 - エアプランツ注目される	1996年 (平成8年) ナメトックスハウスの販売と同時に店頭ハンガーディスプレイを採用	- ナメトックスハウス - デマナックス - 農業用マスク - 園芸用メガネ
- たまごっちブーム - 失業率ブーム - 消費税5%に	「ガーデニング」が流行語大賞を受賞 - フレームタイプのトビアリー注目される - ガーデンシクラメン台頭 - コニファー人気	1997年 (平成9年) - スプレー商品時代の幕開け - 電話でのお客相談窓口開設 - 福岡営業所開設(～2010年)	スミチオンスプレー アリアートル液 - スミチオンスプレー - ベニカエーススプレー - ベストガード粒剤 - トップジンMベースト - モスピラン粒剤 - クサノノMP粒剤 - 園芸用ビペット - アリアートル液
- サッカーワールドカップ 日本代表初出場 - 長野オリンピック(冬季) - 映画「タイタニック」大ヒット	クリスマスローズ・クレマチス注目される	1998年 (平成10年) スプレーシリーズ専用陳列什器を導入(金属製キャスター付)	トップジンMゾル - トップジンMゾル - ベニカエース液剤 - ねずみにけるカードタイプ

メガヒット商品「ベニカXシリーズ」の誕生が、
業界に大きなインパクトを与えることに。
家庭園芸業界の進化を支える地位を確立しました。

創立30周年(1999年)

日頃よりお世話になっていた特約店の方々をご招待して、
30周年式典および記念パーティを開催しました。

消費者様向けに 春のミレニアムキャンペーン 「キューガーデングッズプレゼント」 実施(2000年)

消費者様向けに 「彩園菜園プレゼント」 キャンペーン実施 (2001年)



「住化タケダ園芸株式会社」に 商号を変更(2002年)

住友化学工業株式会社(現:住友化学株式会社)と武
田薬品工業株式会社の合併会社設立に伴い、商号を
「住化タケダ園芸株式会社」に変更し、新たな挑戦が
はじまりました。

ガーデンドクターシリーズ ベニカXスプレー発売(2002年)

研究開発・業務・営業が三位一体となり生ま
れたメガヒット商品。この商品の登場が、その
後の園芸薬品売場を一変させることになりま
した。

浜名湖花博覧会に 住友化学 アグログループ 共同出展(2004年)



マイガーデン発売(2006年)

施肥直後から安定した効果が続き、さらに肥料
やりと同時に土作りもできる粒状肥料「マイガー
デン」は、住友化学グループとして初めてのシナ
ジーを活かした商品として発売しました。

ホームページ 「eグリーンコミュニケーション」を 開設(2001年)



IT時代の進展に伴い、ホー
ムページ「eグリーンコミュニ
ケーション」を開設しました。
商品ガイド、植物栽培ナビ、
病害虫ナビ、雑草ナビ、肥料
ナビから園芸情報まで。多岐に
わたってお客様に役立つコン
テンツを提供しています。

消費者様向けに 「ハッピー!マイガーデンキャンペーン」 (2007年) 「OH!ハッピー! マイガーデンキャンペーン」(2008年) 実施



ハッピー!マイガーデンキャンペーン(2007年)



OH!ハッピー!マイガーデンキャンペーン(2008年)

「住友化学園芸株式会社」に商号を変更 新CIを導入(2007年)

合併の解消に伴い、住友化学株式会
社100%出資の子会社となり、商号を
「住友化学園芸株式会社」に変更しま
した。住友化学グループの一員として、
また家庭園芸のリーディングカンパ
ニーとしてのCIを再構築するとともに、
「あしたを育てる」というタグラインを
初めて制定しました。



社会の動き	業界トピックス	弊社の歩み	新商品
●「だんご3兄弟」大ヒット ●宇多田ヒカル ファーストアルバム大ヒット	●第1回国際バラと ガーデニングショウ ●昆明世界園芸博覧会	●創立30周年 ●棚割ソフト導入	●バロックフロアブル ●テルスタースプレー ●オルトランカプセル
●シドニーオリンピック、 高橋尚子金メダル ●ノーベル化学賞・白川秀樹	●「ジャパンフローラ2000」 (淡路花博) ●ミニ盆栽注目される ●キッチンガーデン・ ポタジェ注目される	●消費者様向けに、春のミレニアムキャンペー ン「キューガーデングッズ プレゼント」実施	●モスピラン液剤 ●粘着くん液剤 ●ナメトックス液 ●不快害虫液 ●ターンアウト液剤 ●草退治粒剤 ●ガーデニングエードボール ●ベジタブルエードボール ●アースチェック液
●アメリカ同時多発テロ事件発生 ●ノーベル化学賞・野依良治	●オープンガーデンが ニュース等に登場 ●ガーデニング人口が 4,000万人を突破 (レジャー・白書より) ●容器包装リサイクル法による 識別表示の義務化	●ホームページ 「eグリーンコミュニケーション」を開設 ●消費者様向けに「彩園菜園プレゼント」 キャンペーン実施	●ビスダイセン水和剤 ●トマトトーンスプレー
●サッカーワールドカップ 日韓共同開催 ●ソルトレイクシティオリンピック(冬季) ●ノーベル化学賞・田中耕一 ●ノーベル物理学賞・ニュートリノ 観測で小柴昌俊	●雑貨店を中心に 苔玉ブームに ●スモールガーデン人気 ●「やさしい畑」創刊 ●「ガーデン&ガーデン」創刊	●ガーデンドクターシリーズ ベニカXスプレー発売 ●「住化タケダ園芸株式会社」に 商号を変更	●ベニカX(エアゾール) ●ベニカXスプレー ●ベニカX乳剤 ●パイベニカ乳剤
●「世界に一つだけの花」大ヒット ●地上デジタルテレビ放送開始	●農業取締法改正 ●屋上庭園各地にオープン ●キウイフルーツ人気	●農業取締法改正や容り法対応に伴い、 パッケージ表記を全面的に確認・見直し	●NEWナメクスプレー ●アリ速効液
●アテネオリンピック	●「パンフィックフローラ2004」 (浜名湖花博) ●イングリッシュローズ・ オールドローズ人気	●スプレー剤の 商品ラインアップの拡充、 全盛時代に突入 ●期間限定ウェブサイト開設 ●浜名湖花博覧会に住友化学アグログループ共同出展 ●財団法人 日本植物調節剤研究協会 (現 公益財団法人 日本植物調節剤研究協会)加入	●パイベニカスプレー ●トップジンMスプレー ●園芸用キンチョールE ●イヌネコにげる粒状
●愛・地球博開催 ●流行語に「ブログ」	●ロハスが流行しはじめる ●クールビズが普及する	●ガーデンドクターシリーズにモスピラン・ トップジンMスプレーが新登場、 店頭で「花に!」「野菜にも!」パネルでW展開	●モスピラン・ トップジンMスプレー ●エードプロ錠剤 ●草退治シャワー
●トリノオリンピック ●荒川静香 金メダル ●イナバウアーが流行 ●第1回WBC開催、 日本代表初代王者に		●マイガーデン発売 ●電話による商品の お問い合わせが 10,000件/年を 超える	●ベニカDX ●エムダイファア水和剤 ●ストマイ液剤20 ●クサノンQ微粒剤 ●マイガーデン 植物全般用 ●マイガーデン バラ用 ●マイガーデン 芝生用
●ゴルフKSBカップで 石川遼、史上最年少優勝	●「花ぐらし」創刊	●消費者様向けに「ハッピー! マイガーデン」キャンペーン実施 ●マイガーデン テレビCM放映 ●「住友化学園芸株式会社」に 商号を変更、新CIを導入 ●農業工業会 加入 ●資本金を200百万円に増資	●アーリーセーフ ●クサノンDX粒剤 ●クサレンジャー ●シバニードシャワー ●キルノック ハチ用 ●オルトランDX粒剤
●北京オリンピック ●スマホ時代に突入 ●リーマンショック ●ノーベル化学賞・下村脩 ●ノーベル物理学賞・小林誠、 益川敏英	●「趣味の園芸ビギナーズ& やさしい時間」創刊 ●家庭菜園ブームはじまる	●消費者様向けに「OH!ハッピー!マイガーデン」 キャンペーン実施 ●受注センターを開設 ●「携帯版病害虫ナビ」開設 ●西日本営業所を千里中央に移転	●ダニ太郎 ●デナボン粒剤5 ●キルノックスズメバチ用 ●犬猫マーキング消臭液 ●無虫空間 虫よけ 吊り下げタイプ ●無虫空間 虫よけ微粒

おかげさまで、創立半世紀を迎えました。
CSR活動や、Webによるコミュニケーションを積極的に展開し、
次の「あしたを育てる」ステージへ。

創立40周年(2009年)

創立40周年を迎え、同年9月には、浜松にある製品開発センターに新たに製剤研究棟を増設。今後も「あしたを育てる」研究部門として、先進的な製品の開発に注力していきます。同年10月には、長年お世話になっている取引先、仕入先、業界関係者の方々などをお招きし、創立40周年記念会を開催しました。



CSR活動「学校花壇&菜園応援プロジェクト」開始(2009年)

40周年を機にWeb上で、「学校花壇&菜園応援プロジェクト」を立ち上げ、全国の小学校に肥料を提供し、堅実に社会貢献活動を実施しています。2012年には、東日本大震災被災地に向けて「花と緑の復興支援プロジェクト」を実施。さらに2013年は、直接小学校を訪問して小学生の花育活動を応援する「花育キャラバン」を開始。2017年には住友化学グループとしてSDGs活動の取り組みを開始しました。

マイローズシリーズ発売 ベジフルシリーズ発売(2013年)

ばら専用の新ブランドとしてマイローズシリーズを発表。ばら資材売場の新提案商品として、市場に好評を博しました。野菜&果樹専用の薬品と肥料のパッケージを統一した「ベジフルシリーズ」も発売しました。



商品データベース 「SC-ENGEI-DB」公開(2009年)

Web上で商品の画像や情報を検索・ダウンロードできるデータベースシステムを整備し、流通への迅速な対応を図りました。

オンラインショッピング OPEN(2011年)

お客様への更なるサービスの一環として、オンラインショッピングを開始。(遠隔地や最寄りに販売店舗がないお客様に商品を直接お届けすることを目的としました)



50周年記念商品 ベニカXネクストスプレー 発表(2018年)

50周年記念の大型新商品としてベニカXネクストスプレーを発表。高スペック(世界初の5種類の成分配合)と優れたユーザビリティを追求した殺虫殺菌スプレーで、園芸業界の新時代を築くインパクトのある商品として話題になりました。



ベニカXファインスプレー 発売(2010年)

殺虫殺菌スプレーに新たな歴史を刻む大型新商品として、ベニカXファインスプレーを発売。園芸薬品のスプレー売場を再び席巻しました。



当時のベニカXファインスプレー

ホームプロダクトグループ設立 新ブランド「ウィズット」発表(2012年)

家庭用日用品雑貨商品を販売するホームプロダクトグループを設立。住友化学園芸として、お庭の植物や園芸のお困りごとだけではなく、生活全般の快適な暮らしを応援する商品「ウィズット」ブランドを発表。2015年に「ムシズバジェットナチュラル」、2016年に部に昇格すると同時に「ウィルナックスミスト」、「育てるサラダ」などの商品を次々に発売しています。



創立50周年記念式典10/2 創立50周年10/3 (2019年)

おかげさまで、本年10月3日に創立50周年を迎えました。同年10月2日に長年お世話になっている取引先、仕入先、業界関係者の方々などをお招きし、創立50周年記念式典を開催。50周年記念花の赤いばら「マイローズ」が式典に彩を添えました。



マイローズ



社会の動き	業界トピックス	弊社の歩み	新商品
●バラク・オバマ黒人初のアメリカ合衆国大統領就任 ●イチロー9年連続200本安打達成	●緑のカーテンブーム 	●創立40周年 ●CSR活動スタート ●商品データベース「SC-ENGEI-DB」公開 創立40周年	●ベニカグリーンVスプレー ●ベニカマイルドスプレー ●モレスタン水和剤 ●スパイダージェット ●花工場切花ロングライフ液
●バンクーバーオリンピック(冬季) ●上海国際博覧会 ●FIFAワールドカップ 南アフリカ大会 ●小惑星探査機「はやぶさ」地球に帰還 ●ノーベル化学賞・根岸英一・鈴木章	●NHK「趣味の園芸やさいの時間」テキスト創刊 ●野菜の栽培が人気	●ベニカXファインスプレー発売 ●自然派志向シリーズ発売 ●無虫空間シリーズ発売	●ベニカXファインスプレー ●ゼンタリ顆粒水和剤 ●不快害虫速効シャワー ●草退治シャワーロング ●シバニードアップ粒剤
●3/11東日本大震災 ●九州新幹線鹿児島ルート全線開通 ●FIFA女子ワールドカップ などでジャパン優勝 ●地上デジタルテレビ放送へ移行 ●流行語に「スマホ」	●東日本大震災の為、日本フラワー&ガーデンショウ中止に ●業界で花を通した震災支援の輪が広がる	●八丁堀に本社移転 ●オンラインショッピングOPEN	●ベニカケムシエアゾール ●草退治シャワーワイド ●GF草退治Z粒剤 ●マイガーデン元肥用
●東京スカイツリー開業 ●ロンドンオリンピック、太田雄貴フェンシングで初のメダル獲得 ●ノーベル生理学・医学賞受賞・「IPS細胞の研究」で山中伸弥 ●地上アナログ放送終了 完全デジタル化	●スミチオン販売50周年	●ホームプロダクトグループ設立 新ブランド「ウィズット」発表 ●CSR活動「花と緑の復興支援プロジェクト」開始 ●スプレーシリーズ1000mlにリニューアル(一部ペットボトル化)	●ベニカ水溶剤 ●ベニカマツケア ●そのまま使える花工場3種
●ユネスコ無形文化遺産に「和食」が登録 ●ユネスコ世界文化遺産に富士山が登録 ●2020年の東京五輪開催決定「お・も・て・な・し」	●家庭園芸肥料・用土協議会30周年	●ばら専用ベストセクション「マイローズシリーズ」4種発売 ●野菜&果樹「ベジフルシリーズ」発売 ●CSR活動「花育キャラバン」を開始	●マイローズシリーズ ●ベニカS乳剤 ●カメムシエアゾール ●ベニカスプレー ●シバニードグリーン粒剤 ●ベジフルシリーズ
●消費税8%に増税 ●ソチオリンピック(冬季) ●FIFAワールドカップ ブラジル大会 ●ノーベル物理学賞・青色発光ダイオード(LED)開発で赤崎勇、天野浩、中村修二	●公益社団法人園芸文化協会70周年 ●コンパクトな多肉植物の寄せ植えが人気に	●日本橋小網町に本社移転 ●ガーデンドクターブティシリーズ発売 ●マイローズシリーズラインアップ充実 4種発売	●ガーデンドクターブティシリーズ ●ナメ退治ペイト ●ブラウンペイト ●マイガーデン花・野菜用 ●GF草退治Z粒剤
●北陸新幹線 長野-金沢間で営業運転開始 ●ノーベル物理学賞・素粒子「ニュートリノ」質量で梶田隆章 ●ノーベル医学生理学賞・寄生虫病特効薬の開発で大村智	●住友化学100周年	●マイローズシリーズ2種追加ラインアップが充実	●カイガラムシエアゾール ●ベジフル液肥 ●トマトの尻腐れ予防スプレー ●草退治シャワーロング ●パンチョTF顆粒水和剤
●北海道新幹線 新函館北斗-東京間で開業 ●リオデジャネイロオリンピック ●ノーベル生理学・医学賞・「オートファジー」で大隅良典 ●18歳選挙権施行	●NHK「趣味の園芸」50周年	●ホームプロダクトグループが部にファミマガーデン「育てるサラダ」、「育てるヤクミ」発売 ●菜園生活シリーズ発売	●ベニカR乳剤 ●オルチオン乳剤 ●ナメナイト ●草退治シャワーワイド ●草退治メガロングシャワー
●アメリカ合衆国第45代大統領にドナルド・トランプが就任 ●特定外来生物「ヒアリ」が国内で発見	●生活害虫防除剤協議会30周年 ●公益社団法人家庭園芸普及協会の「グリーンアドバイザー」認定20周年 ●一般社団法人日本ドゥ・イット・ユアセルフ協会40周年 ●一般社団法人フラワーズサイエティ70周年 ●日本ハンギングバスケット協会 社団法人に	●マイオーガニックシリーズ(リニューアル発売) ●「ウィズット」植物成分うまれの除草剤、殺虫剤を発売	●ベニカベジフルVスプレー ●マイローズばらの培養土 ●クサノンEX粒剤
●歌手 安室奈美恵 引退 ●築地市場の豊洲移転 ●平昌オリンピック(冬季) ●ノーベル医学生理学賞・本庶佑	●公益社団法人家庭園芸普及協会30周年	●住友化学園芸Facebook 1/5開始 ●国際ガーデンEXPO(GARDEX)にて50周年記念商品ベニカXネクストスプレー発表 ●日本家庭用殺虫剤工業会 加入 ●医薬部外品製造販売業許可 取得	●ベニカワイドケアスプレー ●ベニカベジフル乳剤 ●ワイドヒッター顆粒水和剤
●平成天皇ご退位4/30 新天皇ご即位5/1 新元号「令和」に改元5/1 ●消費税10%に増税10/1 ●ラグビーワールドカップ2019 東京大会	●公益社団法人緑の安全推進協会30周年	●創立50周年記念事業開始 50周年感謝キャンペーン 50周年記念花「マイローズ」発表 ●ホームプロダクト部が新規事業部に改組 ●創立50周年記念式典10/2 創立50周年10/3 創立50周年	●ベニカXネクストスプレー ●グリーンスキットシャワー

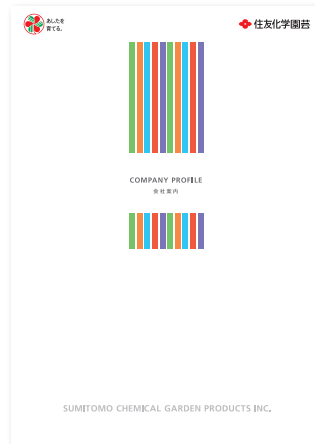
※掲載されている商品名、商品画像及び容量などは発売当初とは異なる場合があります。また、商品名は呼称で、現行品の商品画像は2019年8月末現在のもので掲載しています。



家庭園芸便利ガイド
(総合ガイドブック)



40周年誌



会社案内



製品開発センター案内



販促ツール



雜誌廣告



店内タペストリー



日経MJ対談



日経MJ広告



ホームページ

歴代役員任期一覧(代表取締役社長および常勤取締役)

西暦		69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
元号		昭和	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和									
代表取締役社長	田中 福寿 (1969.10~1983.6)																近藤 陽一郎 (1991.6~1996.6)										宮本 一光 (2007.6~2011.6)																																				
	森本 至郎 (1983.6~1984.6)															小西 忠彦 (1996.6~1999.6)										河合 史郎 (2011.6~2013.6)																																					
	和田 正三 (1984.6~1989.6)															高木 正則 (1999.6~2003.6)										野口 等 (2013.6~2015.6)																																					
	山本 弘一 (1989.6~1991.6)															柏田 雄三 (2003.6~2007.6)										壇辻 寛和 (2015.6~)																																					
常勤取締役	笈 雅敏(専) (1969.10~1980.6)	遠藤 毅(常) (1980.6~1986.6)															宮本 一光 (2004.6~2007.6)										壇辻 寛和(常) (2013.6~2015.6)																																				
	樋口 和央 (1969.10~1974.6)															古賀 義啓 (2004.6~2014.6)										中島 洋 (2014.6~)																																					
	鈴木 昭治郎 (1969.10~1974.6)															石田 泰雄 (1999.6~2001.6)										乾 晋介 (2016.6~)																																					
	山本 弘一 (1986.6~1989.6)															加藤 征三 (1999.6~2006.6)										美馬 彰(常) (2009.6~2012.6)																																					
	小西 忠彦(専) (1989.6~1996.6)															美馬 彰(専) (2012.6~2013.6)										安藤 淳 (2007.6~2013.6)																																					
	小島 博久(常) (1990.6~1993.6)															安藤 淳 (2013.6~)																																															

ベニカXから
ベニカXネクストへ、
その進化の軌跡。



ベニカXシリーズへの 挑戦の原点

おかげさまで、発売以来累計販売本数2000万本突破のロングセラーを誇る弊社の「ベニカXスプレー」。この歴史は、1997年2月、製品開発センターではじまりました。「10年後もリーディングカンパニーとして存在し続けるため、自社企画開発の殺虫殺菌剤にチャレンジしていきたい」という研究開発部の熱い情熱、高い技術力を基盤として、ベニカXシリーズをはじめ、その後の住友化学園芸の主力商品を担っていく現在の殺虫殺菌剤の発売を実現していきました。



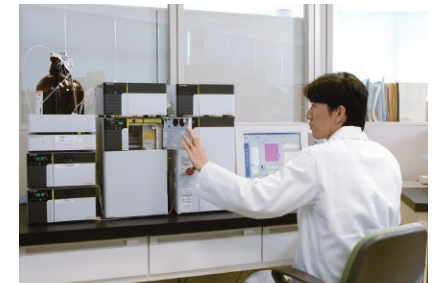
「ベニカXスプレー」 開発までの険しい道のり

手軽で便利な殺虫殺菌スプレー剤の製剤技術は、農薬の中でもっとも難しい分野とされており、商品化までに多くの壁を乗り越えなくてはなりませんでした。

まずは、殺虫成分と殺菌成分の2種類を混合するために必要な補助剤の選定、それに伴う生物試験、そして製剤開発に至るまで、繰り返し行われる試験で蓄積してきたノウハウは、業界をリードする「試験マニュアル」となり、今日の商品開発にも活かされています。

2002年、ついに独自の製剤技術で

確かな効き目を実現した「ベニカXスプレー」を発売。研究開発・業務・営業の三位一体でメガヒット商品となりました。当時は、そのパッケージの斬新さと開発コンセプトにおいて、業界内で一躍注目を浴び、この商品の登場がその後の園芸薬品売場を一変させることになりました。



日ごろお客様からいただく「便利
けど手が疲れる」といったお悩みを
解消するために、容器とトリガーの設
計を見直して身体への負担を軽減
し、どなたにでも使いやすくしまし
た。また製剤化研究では、これまで
退治を諦めていた虫やたくさんの病
気にも効果を発揮するために、5種類
の成分配合にこだわりました。製剤
化研究と生物評価において数々の難
題を乗り越えることが必要とされる
なかで、展着性を高めて薬効を最大
限にしながらも、低濃度の有効成分
を安定化させ、いかに作物に害のな
い製剤を開発するかが課題でした。
そして、何度も試験を重ねた結果、利
便性と製剤技術を最大限に発揮する
世界初^(※2)の5種類の成分を配合した
「ベニカXネクストスプレー」が弊社50
周年である2019年に発売されました。
住友化学園芸は、これからも、より
快適なガーデニングライフを楽しん
でもらうため、時代の最先端を見据えた
商品開発に挑戦し続けます。



家庭園芸愛好家から 圧倒的支援を集める存在へ

2010年には、後継品として「ベニカX
ファインスプレー」を発売。3つの成分(殺虫成分クロチアニジン、フェンブ
ロパトリンと殺菌成分メパニピリム)
を混合。花き類・観葉植物、樹木類、
野菜といった適用作物の充実を図り、家庭園芸用殺虫殺菌スプレー売
上No.1商品^(※1)へと成長。より多くの
ユーザーから支持される布石となりました。

超大型新商品として進化。
園芸のネクストステージへ！

50周年記念商品の名にかけて、いよいよネクストステージへ。
研究開発部は、メーカーのプライドにかけてさらなる進化へと挑み続けました。



次の50年も、 豊かな未来を育てるために。

おかげさまで、住友化学園芸は
2019年10月に創立50周年を迎えました。
これから新たな50年が始まります。
多くの方に親しまれている家庭園芸の
フィールドは今後さらに広がり、
それぞれのお客様が、それぞれに咲かせたい
花があるように、お客様のニーズもより多岐に
わたるでしょう。
私たちはお客様ひとりひとりの視点に立ち、
共に歩んでいきたいと考えています。
そして、花と緑があふれる豊かな未来へ
つながることを願っています。
そのために、私たちはたゆまず研究・開発を
重ね、より良いあしたを咲かせる、次の50年を
歩んでまいります。



〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号

www.sc-engel.co.jp



2019年10月3日発行
DH1-1910-3AD